

# HARLEM SPIT'EM OUT!

"it's absolutely raw"

This paper gives y'all hip hop heads the real words from the real scene...

feature interview

## DJ MASTERKEY

2002年9月以来、久々の巻頭インタビューに登場となるDJ MASTERKEY。  
音楽への情熱を素直に語り、中身の濃い非常に貴重なインタビューとなった。

■ HARLEMでの“DADDY'S HOUSE”が約1年半ほど前に一区切りして、その後、環境や心境の変化などありましたか？

やっぱり、ずっとやってきたじゃないですか。だから、最初の頃は違和感があったけど。でも逆に客観的に色々なものが見れる状況が続いてます。色んな人と一緒に視点を、例えば渋谷のHIP HOPシーンなんかも見れたし。第三者が客観的に物事を見るというのは大事な事だと思うので、今はそういう時期だと考えてますね。で、最近また「オレ全然DJできるじゃん」とか思っちゃったりして。今はとにかくDJは少なめでやっています。昨日は久々にやったけど、いい刺激になりますね。あとは、MTV屋台などテレビの仕事をやり始めたり、ラジオもやっているの、そういう意味では場所を変えて新しい事にチャレンジした、その後といった感じですよ。特に今までDJしたり曲を作ったりしてきた事で培ったものを、これから一体何に変えていくのかというのがオレのこれからのポイントになると思うんで。昔はね、テレビなんかに出てるヤツは…って思ってたけど。今考えると、培ってきたものを何かに変える事ができるかできないかでその先が大きく変わってくるんだなって、この歳になってわかりました。例えば、K-DUB SHINEとかも、宇多丸と一緒に第三会議室とかやって、ある意味K-DUB SHINEの面白い部分が出てきたじゃないですか。そういうのは、HIP HOPで築いたものをああいう方向でやっていってもいいと思うんですよ。それによって面白くなると思うし。だから、MTVやってるからと言って、人が変わったなんていう事は絶対にないんだから。それはあくまでもHIP HOPで培ったものを使ってどういうふうにしていくかということだから。

■ それでは、今回のアルバムの中で、特に意識したところは？

(『DADDY'S HOUSE vol.』を) 1、2、3をやっているの、どうしても右肩上がりにならないやいけな思っていました。今回は集大成、最後という事でやっています。そういう意味では、自分で自分の作ったものにOK出来るという事は照れくさいし、やり辛いところもあるけど、今回はいい出来ですよ。なので、とにかくたくさんの人に聴いて欲しいなと思っています。自分の想い描いているものにはもの凄く近づいたかなというつもりではあるんですよ。やっぱり自分が聴いた時にいいアルバムだと思えるのが鏡になると思うので、それに近づけようと思って。どういふアルバムがいいアルバムかっていうのは人によって違うとは思いますが、確実に一つ言えるのは、何回聴いても飽きないって事。中毒性がある、クロニックだと。そういうものができればいいな。そういう、何回も聴けるものが作りたいというのがあったんで、そのためにはやっぱり1曲1曲が同じようにならないようにした方がいいのかなと思ったりして。食べ物でも同じようなものばっかり食ってたら、胃がもたれてきちゃうでしょ？20曲ありますからね、お腹いっぱいにならないように、また聴けるようにって考えて。難しいですよ、CDの値段下げるわけにはいかないから。どうしたら買ってくれた人にお買得だと思わせるか、そう考えると、やっぱりいい内容にする事が最低限必要だと思うので。だから、客演してくれる人も間違いないって人を揃えたと思っています。でもそれは当たり前で、その最高のメンツと僕のコラボレーションですから。それを是非聴いてもらいたいですね。1曲1曲の肌触りというか、聴き触りの違いだったりとか… イイ事言うな、オレ今日(笑)。

■ 今回の作品でファイナルという事ですが、“DADDY'S HOUSE”シリーズは今後どうなるんでしょうか？

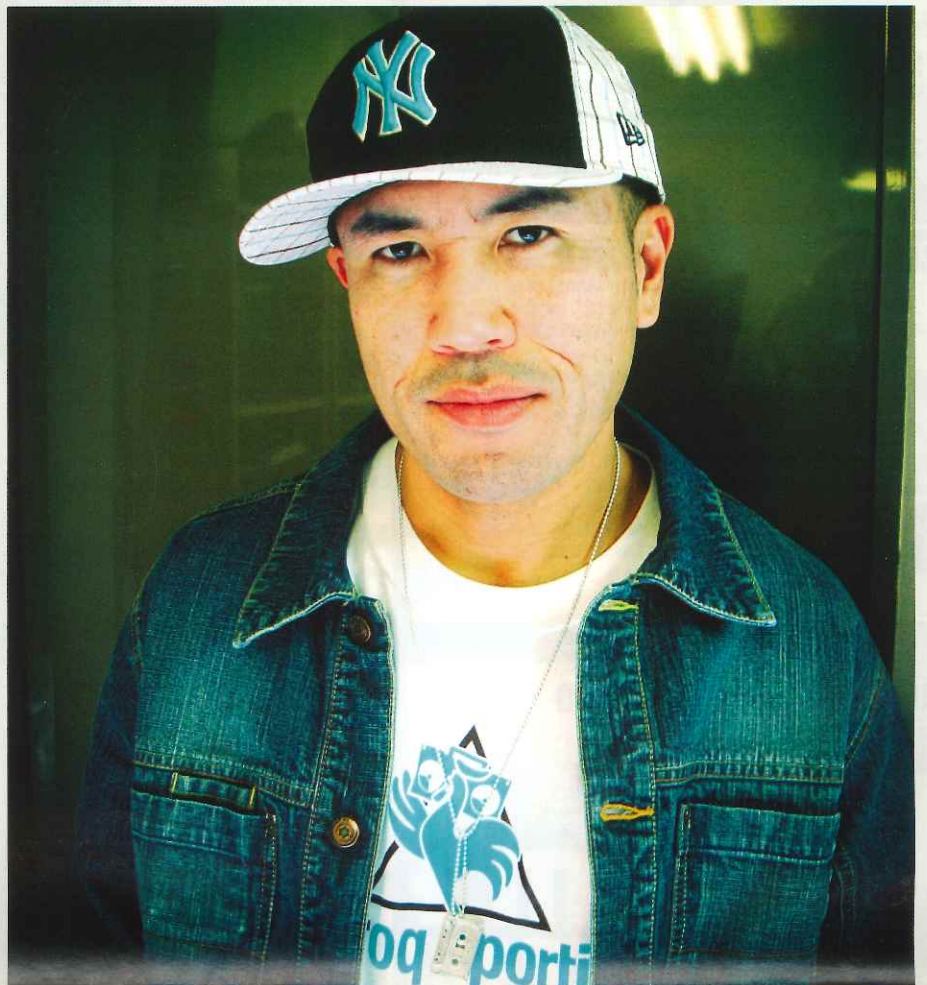
言い出しちゃったからしょうがないというのは理由にならないと思うけど(笑)。いいところで惜しまれながら次のものに行くというのが鉄則だな。これはこれで完結したけど、またいつかやってもいいと思っています。Jay-Zだって、引退するとか言っておいてまたやるでしょ。それはそれでいいんだけど、いつかまた気が向けばやってもいいし、反響が大きかったらやらせてもらう事にもなるだろうし。今の時点では、何か新しいものに向かって行く方が前向きな気はするので。イヤなのは、遊る事。「あの時はよかったなあ」というヤツ、よくいるでしょ？ そういうのは絶対にイヤだから、常に前に向かって行く方向でいきたいですね。ちなみに次のアルバム、決まりました。“帰って来たDADDY'S HOUSE”(笑)。引退するって言えば良かったかなって思って、ホントは(笑)。「やめますから」って。でもそれは禁じ手だからね(笑)。まあ、いずれにしろ何か面白い事をやりたい。グループでやるのか、何をやるのかというのは、乞うご期待なんですけどね。「このやろ〜、すげ〜事やるじゃん」と言われたらまた面白いと思うし。とにかくサイクルの早い世の中だから、こちら側もその事を見越して色々やっていくかといけななとは思うんだよね。まあ、オレがラップしたところで「オイ、またDJがラップしてるよ〜」なんて言われても面白くないから、そんな事は絶対しません。それよりもっと面白い事をしますよ。

■ 制作と現場のバランスを保つために心掛けている事はありますか？

いや〜、保てないでしょ(笑)。両方やるのは凄く大変なんです。自分でもまだまだ両立できているとは思ってない。相当な集中力が必要ですよ。オレの理想を言っちゃうと、DJ一本でご飯食べればいいんですよ、生活できれば。でもそうはいかないでしょ、日本ってそういう世界。アメリカだったら、FUNKMASTER FLEXだったりCASH MONEYだったり、DJだけで飯食って、制作なんかやらないでしょ。でも、日本じゃそれだけで食えないんだよね。そう考えちゃうと、作った曲をどこで発表するかって言ったら、自分がやってる箱だったりするわけで、両方やらなかったらしょうがない。これはね、両方じゃなくて、これが1セットなんだよね。DJだけ制作やらなくとも大変だと。遠い昔はそんな事考えた事もなかったけど、こういう世の中ですから、それが当たり前だと思っちゃいますよ。試練を与えられたと思えば、何の事はない(笑)。人生、イバラの道ですから(笑)。

■ HIP HOPシーンだけではなく、日本の音楽業界全体について、DJ MASTERKEY的に一言物申すとしたら？

いい質問だな〜。今の質問はバッチリです。オレレレコード会社の社長に抜擢してくれればいいと思う。日本ってそういう事ないでしょ、アメリカだとあるじゃないですか。Jay-ZがDef Jamの社長に就任したとか。なんで日本はそういうふうにならないのかが不思議。オレが何のために自分でCDを作ってきたかという、CDはどうやってできてどうやって売られていくかというのを今まで勉強して来たわけですよ、自分の身を削りながら。だから、そういう一番解っているヤツを大抜擢してもいい、そういう時代じゃないですか？現場を解って、CDがどうやって作られているか、どうやって流通させて、どういふプロモーションしていったって…って一番解っているヤツを使う。



もちろんレコード会社の人達も解ってるとは思うけど、オレは夜現場に出て、若者の意見を直接聞いてますからね。生の声が一番強いと思いますよ。だから、僕らも現場にこだわるわけですよ。そういうところから発生した音楽だからね。自分がどこから来て誰なのか、忘れちゃったらダメなわけですよ。それと一緒に大事な事だと思えますよ、生の意見って。アメリカでは、そういうヘッドハンティングのような事が普通に行われているし、だからあれだけCDが売れている。なぜかって言ったら、ちゃんとストーリーとつながっているからじゃないですか。ディレクターだって「これだけ売ったら、お前すごい出してるぞ」となったら、売れるじゃないですか。だから、どこかのレコード会社の方が、このHARLEM新聞のインタビューを見て僕のところへ連絡してくれれば、いくらでも協力しますよ(笑)。そうしないと、日本のCDが売れないこの行き詰まっている現状は大変な事になると思う。50 CENTなんて前作1,100万枚ですよ。どうなってるの？って感じでしょ。これはケタがデカ過ぎますけど、もうちょっと今の現状を良くする事は可能だと思いますよ。だから、日本のレーベルの方が見てたらオレを使った方がいいですよ、と(笑)。

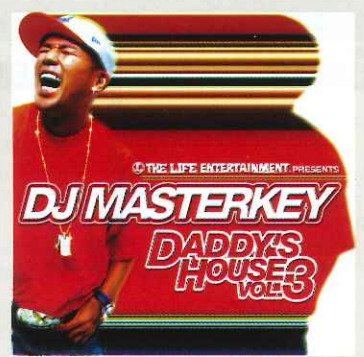
■ 今後の予定は？

とにかくDJはもっとやりたい。こういう時期だからこそ、もっともっとDJをやりたいね。制作はもちろんやっていくけど、MTVももうちょっとやっていくし、ラジオもやりますし。あとは次のコンセプトですよ。とにかくポイントはそこですけど、そこは是非、「乞うご期待！」と言いたいね。新しい事を始めた時に「こいつバカだな〜、面白い事やるな〜」って思わせたいんですよ。それで自分の存在感をアピールしたいし。エンターテインメントってそういうものじゃないですか？「こいつバカだな、こんな事やっちゃうの？」って思わせる。もちろん、今まで応援してくれている人達がいるんですけどね。セルアウトはしないですよ、売れるために何とか…とか。でも、自分が築いてきたものを叩き台にして、例えばもっとポップなものやイケるんだったらポップなものを作ればいいし。そういうやり方がいいと思うんで。まだ具体的にはそこまで考えてはいないけど、ただ、動き続けたいと死んじやいますからね。とにかくあつと驚かせるような事はやりたいと思っています。それは絶対しなきゃいけないと思っています。

■ 3月20日のリリースパーティーへ向けて一言。

去年のKAORIちゃんのリリースパーティーも面白かったけど、あの時以上に面白いものにした。ライブも面白いメンツが来るし、とにかく色々なので、超気合を入れて。当日は凄く盛り上げて面白いパーティーにしたいと思っているので「MASTERKEYここに在り！」というのをみんなに見てもらいたいと思います。とにかく、クラブに来て何が面白かって言うと、知ってる曲がかかるのが一番面白い！だから、「DADDY'S HOUSE vol.1、2、3」を聴き直して来てくれれば、3/20のライブも「本物じゃん！」って面白く聴けると思うので、是非聴いて下さい。僕ができるのはアルバムを作るところまでなので、後は皆さんに聴いてもらって判断してもらえればと思います。もし、買ってダメだったら、オレに直接文句言っていから。良かった時は「良かったよ！」って言ってくれたら… 幸いです(笑)。なので是非、「DADDY'S HOUSE vol.3」をチェックして、HARLEMの3/20のリリースパーティーに遊びに来てくれたらと思います。3/20は休日前なので、みんな心配する事は何もないので、是非ハジけて来て下さい！あとは、ゴールデンウィークの5/4には“DADDY'S HOUSE”をDJ KENSEIとやるので、こちらも是非。これも楽しいですよ〜。最近じゃ、特に若いHIP HOPファンなんかDJ KENSEIの事知ってる子いるのかな〜って心配になっちゃうけど、こういうDJもいるってのを見てもらって引き締まると思うし、オリジナルメンバーなんで、こんなに面白い事は他にないと思うから、楽しみにしてもらいたいですね。☺

DJ MASTERKEY'S 3rd ALBUM  
"DADDY'S HOUSE vol.3"



NOW ON STREET!!  
¥3,059 (Tax incl.) LECD10003  
info: www.thelife.jp